

令和元年度 第1回

川西市産業ビジョン推進委員会・ビジョン策定部会 次第

とき 令和元年7月16日(火) 13時～15時

ところ 川西市役所 4階 庁議室

1 あいさつ

2 委嘱

3 自己紹介

4 議題

(1) 産業ビジョンの策定について 【資料1】

(2) 前産業ビジョン(平成25～29年度)の評価指標と達成状況
【資料2】

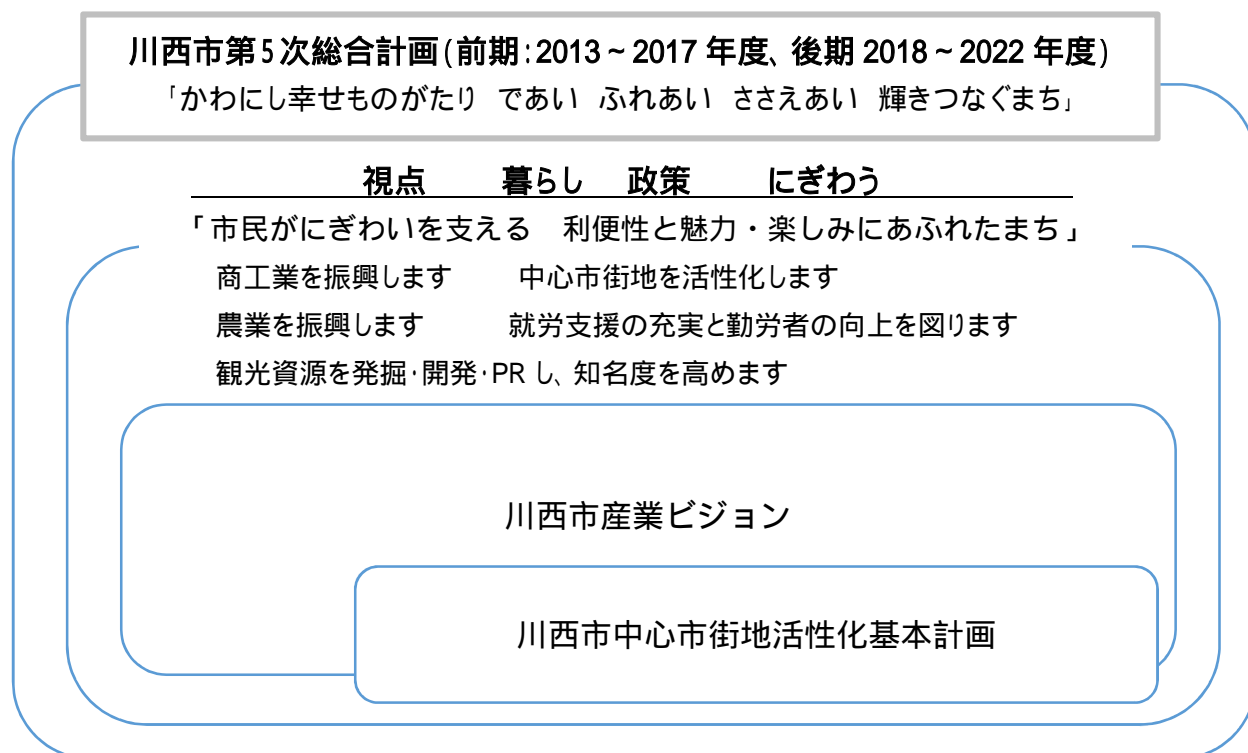
(3) 本市の現状(各統計データ) 【資料3】

(4) 本市産業の課題と次期ビジョンについて 【資料4】

川西市産業ビジョン 策定 の 概要

1、趣旨

川西市の商業・工業・農林業・観光・労働関係施策について、国・県の動向を踏まえつつ、川西市第5次総合計画のほか、川西市中心市街地活性化基本計画をはじめ関連する各計画との整合性を保ち、本市産業の活性化及び市民生活の豊かさの向上について戦略的に短・中長期的な視点で示すビジョンを策定する。



2、計画期間

令和2～9年(2020～2027年度)

前期：2020～2022年度【R2～4年(3年・短期)】

後期：2023～2027年度【R5～9年(5年・中長期)】

3、策定体制

川西市産業ビジョン推進委員会(9名・学識経験者、市内商業・工業・農業関係者等)に、「産業ビジョン策定部会(7名・学識経験者)」を新設し、調査・審議する

川西市産業ビジョン推進委員会規則

第2条 推進委員会は、川西市産業ビジョンの計画的な推進を図るための重要事項について調査審議するとともに、必要に応じて市長に意見を述べるものとする。

第8条 委員長は必要があると認められるときは、推進委員会に部会を置くことができる。

4、策定スケジュール(案)

時期	回	会議	内容(検討事項等)	備考
7月16日	第1回	全体会(推進委員会・部会)	委嘱、前計画総括、今後の方向性	
7月下旬～	下記「5、関係事業者等ヒアリング」参照			
8月14日	第2回	部会	ヒアリング報告、各分野の方向性	
9月20日	第3回	部会	中間まとめ	
10月上旬	第4回	全体会(推進委員会・部会)	ビジョン(案)の検討	
10月下旬	第5回	全体会(推進委員会・部会)	ビジョン(案)の検討	
11月～1月	市議会への説明・パブリックコメント実施			
3月	産業ビジョン策定			

5、関係事業者等ヒアリング

(1)ヒアリング対象(案)

- ・商工業分野・・・川西市商工会 各4部会(商業・工業・建設・サービス)
- ・起業分野・・・市女性起業塾等参加者へのアンケート
- ・農業分野・・・川西市農業振興研究会、営農研究会
- ・労政分野・・・労働関係有識者
- ・観光分野・・・川西市観光協会

(2)ヒアリングの方法

事務局で「ヒアリングシート」を作成し、部会員による内容確認を行う

ヒアリングシート(例)は資料1 - 2を参照

事務局とコンサルが、ヒアリング対象者に対し、各分野の課題例を踏まえヒアリングを行う

課題(例)

- ・商業分野・・・空き店舗、販売額の減少、他地域への流出
- ・工業分野・・・事業承継(跡継ぎ)、操業環境、企業誘致
- ・起業分野・・・起業前の支援、起業後の事業継続
- ・農業分野・・・担い手不足、耕作放棄地
- ・労政分野・・・働き方改革、人手不足、人材育成、外国人雇用
- ・観光分野・・・観光客数の増加策、コンテンツ発掘・創造、プロモーション

川西市産業ビジョン策定 関係事業者ヒアリングシート	
団体名	
ご参加者様	
場 所	
日 時	令和 年 月 日 : ~ :
ヒアリング項目	回答内容
1 あなたが課題と感じていることは何ですか。また、最も課題と考えるものは何ですか。	
2 課題に対し、どのような取組を行ってききましたか？	
3 課題に対し、民間企業や大学・研究機関などどのような連携ができそうですか？	
4 課題に対し、行政に実施してほしいことはありますか？	

ヒアリング担当者

川西市産業ビジョン(平成25～29年度) 評価指標の達成状況と主な事業

産業ビジョンの基本的な考え方

第5次総合計画 ライフシーンと目標 政策2 にぎわう

～ 市民がにぎわいを支える 利便性と魅力・楽しみにあふれたまち ～

産業振興の基本方針と取組み

【基本方針1】 地域の特性を生かした都市型産業の構築などによる地域経済の活性化

指標名	基準値・目標値	データ	計画期間					H30年度	達成状況
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
1. 川西しごと・サポートセンターにおける年間就職件数	基準値:1,076件(H23) 目標値:1,400件		1,002件	1,003件	1,002件	958件	1,004件	1,037件	×
2. サービス業の構成比	基準値:46.8%(H21) 目標値:50%	経済センサス 基礎調査	-	45.60%	-	-	-	未	×
3. 市内総生産額	基準値:2,910億円(H23) 目標値:2,900億円	県市町内 GDP速報値 (名目)	3,122億円	3,277億円	3,403億円	3,388億円	3,242億円	未	○

基本方針1の指標の達成に向けた主な事業

事業名	事業概要
若者キャリアサポート川西	川西しごと・サポートセンター内に設置し、合同就職面接会や就職支援セミナー(応募書類作成・面接対策・職業意識啓発)の開催、キャリアカウンセリング、社労士相談など、概ね40歳未満の若年者の就職を支援する事業を実施
若年者就労体験支援事業	39歳以下の若者を対象に、事業所での連続した就労体験を通じて、就職に結びつけるとともに、就労後のフォローアップを通じて早期離職を防止、就労人数の増加を図ることを目的とする事業。
在宅就業促進支援事業	在宅勤務を希望している市民に対する支援として、入門セミナー、WEBライティング講座、経験者との交流の機会を設けるとともに、在宅就業情報の収集、提供、マッチング等を行う事業。
女性起業サポート事業	起業を希望する女性に対し、起業の準備から起業初期に資するセミナーやフォローアップを行い総合的に支援するとともに、受講生同士の交流を図り起業家のネットワークの構築を支援する事業。
提案公募型地域経済活性化事業補助制度	空き店舗への出店や地域商業の活力向上に効果が見込める新たな事業について、民間団体や一般の方々から提案を募集し、選考審査のうえ、その提案に対する経費の一部を助成することにより、地域経済の活性化をめざす事業。
操業環境継続事業奨励金交付事業	工業・準工業地域内で操業している工場が廃業・移転した際、その土地所有者が新たな工場事業主に譲渡、又は、貸し付けた場合、奨励金を土地所有者と新たな工場事業主に対して支給し、操業環境の確保を図る事業。
市融資あっせん制度	市内中小企業者を育成・助長するとともに、市内産業の近代化並びに企業合理化の促進と産業公害の防止に寄与することを目的に、取扱い金融機関及び兵庫県信用保証協会の協力を得て運転資金、設備資金、起業家支援資金等の各種事業資金のあっせんを行うもの。

【基本方針2】 地域貢献・社会貢献の推進による産業の振興

指標名	基準値・目標値	データ	計画期間					H30年度	達成状況
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
1. エコアクション21認証・登録制度の登録件数	基準値:2件(H24) 目標値:12件		0件	2件	0件	1件	0件	0件	× (計3件)
2. 提案公募型地域経済活性化事業補助制度の申請件数	基準値:0件(H24) 目標値:10件		0件	0件	4件	0件	0件	0件	× (計4件)
3. 農業ボランティアの人数	基準値:0人(H24) 目標値:50人		0件	0件	4人	12人	13人	15人	× (計15人)

基本方針2の指標の達成に向けた主な事業

事業名	事業概要
エコアクション21認証・登録補助事業	環境省が定める「エコアクション21」制度の認証・登録等の際の登録審査・コンサルタントに係る経費の一部を補助することにより、環境経営に取り組む事業者を支援し、持続可能な経済社会の実現に貢献する。
[再掲] 提案公募型地域経済活性化事業補助制度	空き店舗への出店や地域商業の活力向上に効果が見込める新たな事業について、民間団体や一般の方々から提案を募集し、選考審査のうえ、その提案に対する経費の一部を助成することにより、地域経済の活性化をめざす事業。
市民農園事業	川西市民が土と緑に親しみ、農業に対する理解と認識を深め、健康で潤いのある市民生活を営める環境を提供し、地産地消、食育及び市民ファーマー制度の推進を目的とする。
市民ファーマー制度	小規模な農地を継続的に耕作する市民ファーマーとして登録した就農を目指している人が円滑に農業に参入できるよう、登録された農地を紹介し賃借手続きの支援を行うことにより、耕作放棄地の増大防止と担い手の育成を目指す事業。
農業ボランティアの育成	高齢化や担い手不足で困っている農業者を支援する農業ボランティアの育成や、耕作放棄地の増加防止にもつなげるため、初心者を対象に野菜・果樹栽培の基礎知識や初歩的な農機具の使い方などを習得できる川西市農業塾を開設する。

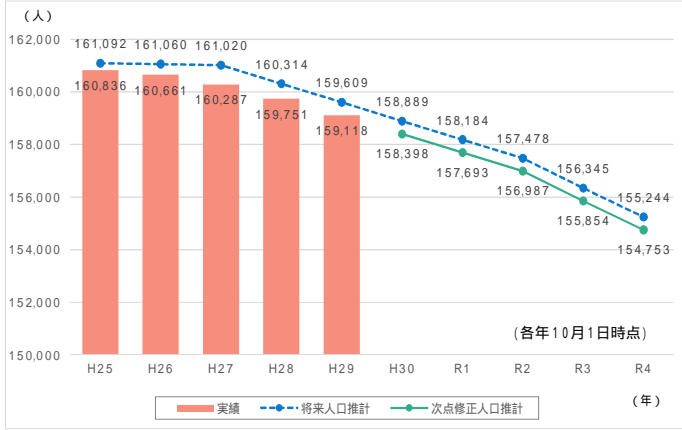
【基本方針3】 市民参画型のにぎわいのあるまちづくりによる川西の新しい魅力の創出

指標名	基準値・目標値	データ	計画期間					H30年度	達成状況
			H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
1. イベントの参加人数	基準値:4,200人(H24) 目標値:5,000人	即売会、パル など	不算定	4,337人	4,909人	4,114人	4,164人	3,201人	×
2. 市内で買い物をする人の比率	基準値:88.3%(H24) 目標値:90%	市民実感調査	83.4%	83.8%	82.8%	81.5%	82.0%	85.8%	×
3. 都市農業サポーターの登録人数	基準値:0人(H24) 目標値:100人		0人	1人	1人	1人	1人	1人	× (計1人)

基本方針3の指標の達成に向けた主な事業

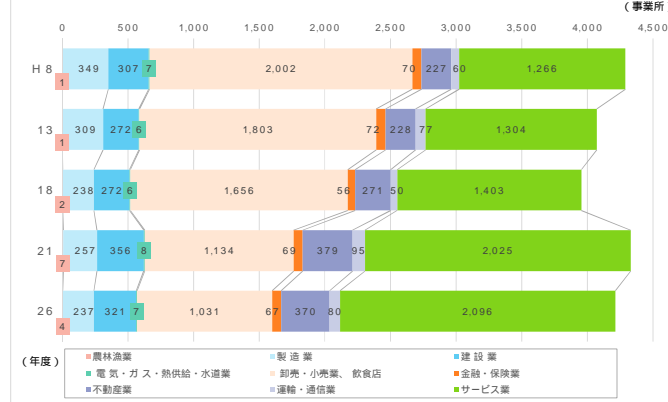
事業名	事業概要
中心市街地活性化協議会助成金	中心市街地における中小商業の活性化のための事業を実施する、中心市街地活性化協議会、かわにし能勢口まつり実行委員会、川西市中心市街地イルミネーション事業実行委員会を対象に、中心市街地活性化協議会活動事業や各種イベント事業(まちなか美術館等)、藤ノ木さんかく広場の活用に必要な経費を補助する事業。
地域商業活性化補助事業	商店街団体が実施する、商店街の診断、指導計画委託事業や、イベントの開催に係る事業費の一部を補助し、地域商業の活性化を支援する。
まるまるマルシェの開催	地産地消を推進するため、関係機関の協力を得ながら「かわにしまるまるマルシェ」を開催し、『(まる)印のいいものをお届けし、川西の魅力(まる)ごと満喫していただくことで、農家とお店と皆さんが大きな(まる)でつながるイベント』をコンセプトに、市民はもとより、市内外に向けて地元農産物のPRを図る。
いちじく、ももの即売会の開催	川西の特産である、いちじくと桃について、広く市民に紹介し、旬の新鮮ないちじくと桃を即売することにより、消費の拡大を促し、生産者の生産意欲と技術の向上や、生産振興を図ることを目的とする。
新商品開発等事業者補助金制度	川西市特有の農産物や資源を活かした商品開発に熱意のある個人、団体及び法人を対象に、新たな特産品・加工品を商品化するための研究・開発事業及び広報事業、または、既存商品を改良し新たな特産品・加工品を商品化するための研究・開発事業及び広報事業に係る経費の一部を補助する事業。
五つ星ひょうご補助事業	川西市の特産品で、かつ、「五つ星ひょうご」として公益社団法人兵庫県物産協会に選定された商品を川西ブランドとして発信することにより市内産業の活性化を図ることを目的として、当該商品を開発した事業者等に対し補助金を交付する事業。
都市農業サポーター制度	都市農業の魅力や課題についての講座を開催し、川西の農産物に関する情報(イベント・即売所、お得情報等)を発信する都市農業サポーターを育成する事業

総合計画における人口推計



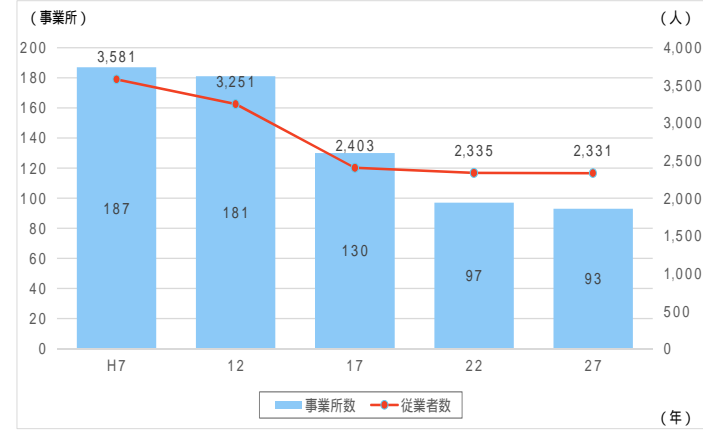
資料：市総合計画

産業分類別事業所数の推移



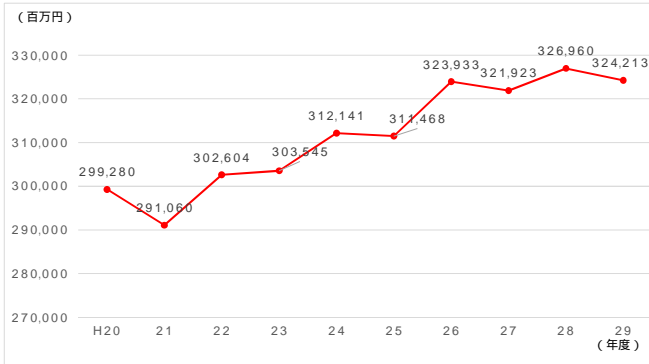
注：事業所・企業統計調査と経済センサス基礎調査では産業種別が異なる部分がある。
サービス業は、飲食店・宿泊、医療・福祉、教育・学習支援、複合サービス、その他サービスを含む。
資料：平成18年度までは事業所・企業統計調査、平成21年度以降は経済センサス基礎調査（公務除く）

工業の事業所数及び従業者数の推移



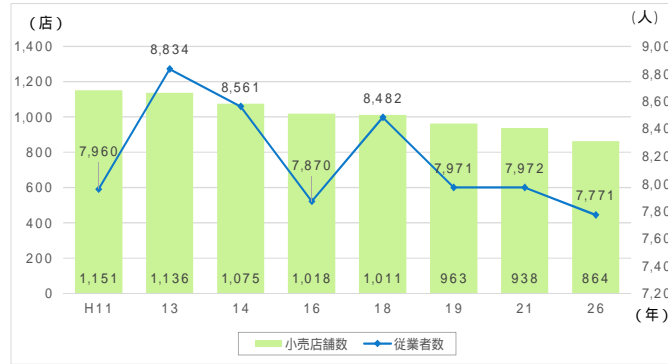
資料：工業統計調査

市内総生産（名目）の推移



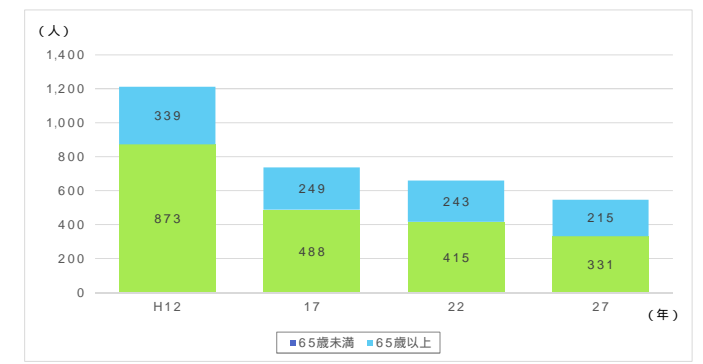
資料：「市町民経済計算（兵庫県）」（平成29年度）市内総生産（H29は速報値）

小売店舗数及び従業者数の推移



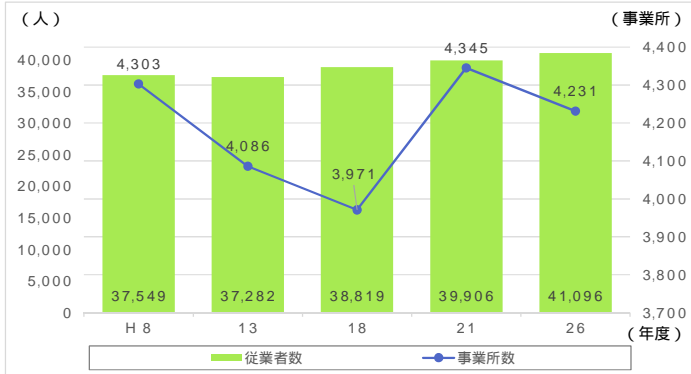
資料：商業統計、経済センサス

販売農家の就業人口



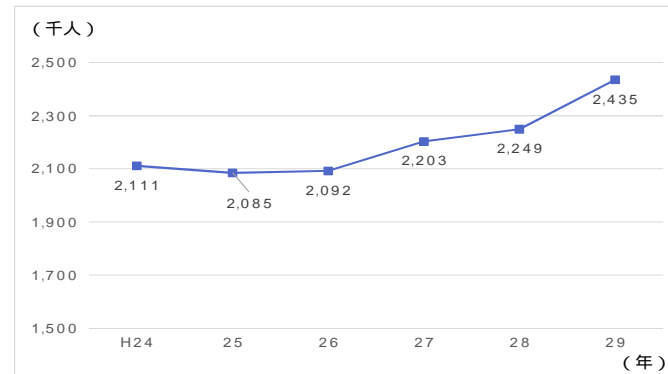
資料：農業センサス

事業所数及び従業者数の推移



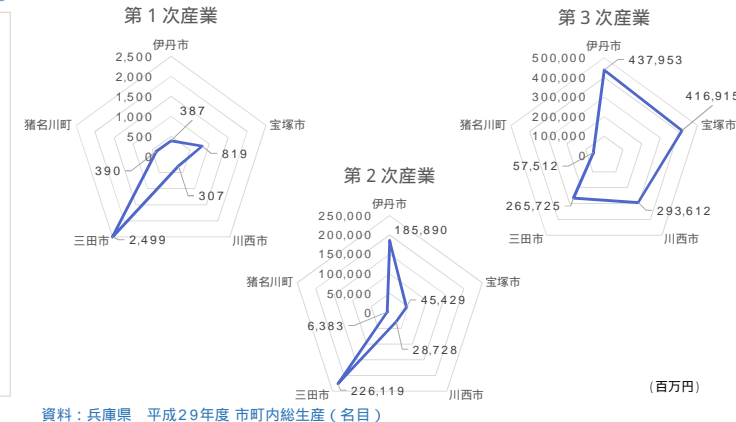
資料：平成18年度までは事業所・企業統計調査、平成21年度以降は経済センサス基礎調査

観光入込数



資料：兵庫県観光動向調査

産業分類別の都市間比較



資料：兵庫県 平成29年度 市町内総生産（名目）

次期ビジョンの策定 に向けた視点

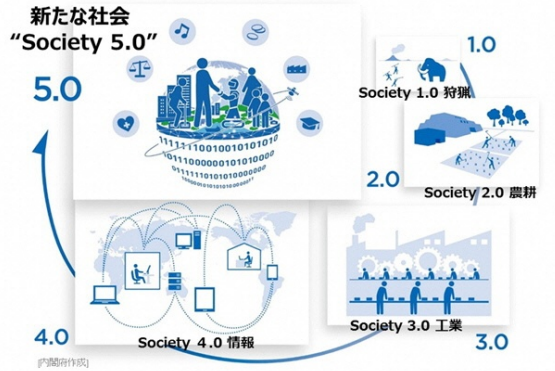
持続可能な開発目標 (SDGs)

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。
 持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。
 SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

Society 5.0

「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」に続く、人類史上5番目の新しい社会、それが「Society (ソサエティ) 5.0」です。

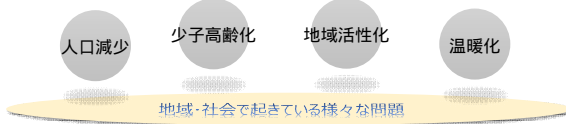
Society 5.0で実現する社会は、IoT (Internet of Things) で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、人々に豊かさをもたらしていくことが期待されます。



資料：内閣府ホームページ

Society5.0の世界

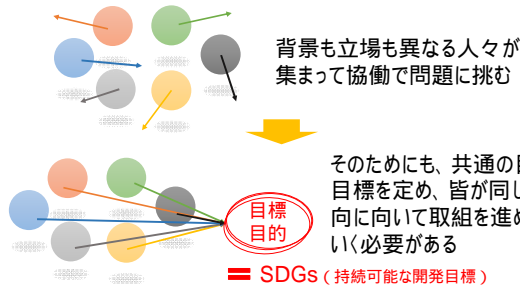
- ドローン宅配
- AI冷蔵庫
- AIスピーカー・フォン
- 遠隔診療
- 介護ロボット
- 見守りサービス
- 無人トラクター
- 清掃ロボット
- ICT栽培
- 自動走行バス



こうした問題は、複数の要因が絡み合っているため、何が原因で生じているのか、一つに定めることができない

だから

多くの人が参加し、多くの人の力を活かして
問題に挑むことが重要



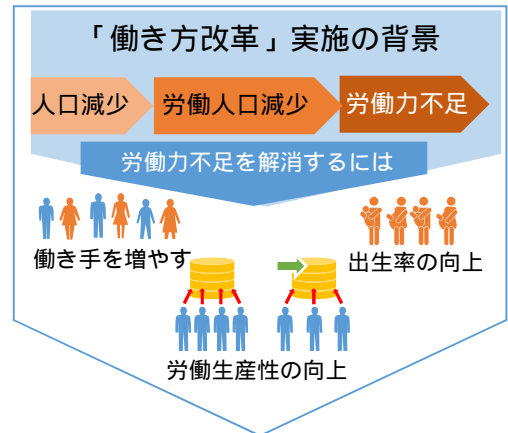
多様なステークホルダーがゴールを共有しながら、それぞれができることを行っていくことで、持続可能な社会を実現していく

働き方改革

我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面しています。

こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっています。

「働き方改革」は、この課題の解決のため、働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指しています。



「働き方改革」3つの柱

